

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区 分	内 容
テーマ・事業名	◆南区家族ふれ愛事業 ◆夏休みの宿題サポート事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	◆南区家族ふれ愛事業の13日目として、児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆夏休みに子どもたちの学習サポートを行い、子育て家庭の負担軽減を図るとともに、地域の人材を活かし、世代間交流の場とする。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展及びコンサート 【展示】 ■日時:令和6年11月1日(金)～11月20日(水) ■会場:白根学習館1、2階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数:584点 ・(絵画)南区内小学校4年生の児童268人から出品があった。 ・(標語・川柳)南区内中学校1年生の生徒316人から出品があった。 ※地区文化祭、地域生活センター(庄瀬、臼井、大通)で絵画・川柳展示 【コンサート】 ■日時:令和6年11月10日(日) ■会場:白根学習館 ラスペックホール ・特別企画「動く!大きな絵があるファミリーコンサート」 ・出演者:ケチャップマヨネーズ 来場:126人 【広報】 ・第3部会の「味わい市場」にブース設営し、来場者へ展示やコンサートのPRを行った。 ◆夏休みの宿題サポート事業 ○「みんなで宿題! 4days～ハッピー夏休み♪～」 ■日時:令和6年7月23日(火)～26日(金) 午前9時30分から10時30分 ■会場:白根児童センター(2階 工作室) 参加者:児童 延76人(23日:18人、24日:19人、25日:19人、26日:20人) ボランティア 延18人(23日:3人、24日:3人 25日:3人 26日:9人) ・小学生を対象に各日20人、保護者などからボランティアを募集し実施。終了後にくじ引きも行った。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 【展示】 ・区内の全小・中学校から出品があり、恒例事業として学校側にも定着している。 ・出展規模の都合上、1階、2階に展示が分かれたため、全て見るのは難しかった。 ・アンケート結果(パネル投票):回答142名(良かった134、普通4、良くなかった4) 【コンサート】 ・保育園児や小学生とその家族を対象としたが、アンケートも概ね好評だった。 ・参加型として会場各所に人員を配置したが、安全面には更なる配慮が必要。 【課題及び今後の取組】 ・小中学校との連携事業という面はよいが、作成スケジュールが厳しく、締切までの提出が難しいという学校もあり、依頼方法の見直しが必要。 ・家庭の形態は様々だが、「家族」という言葉を広義でとらえ、引き続き使用する。 ◆夏休みの宿題サポート事業 【評価】 ・複数の小学校児童が集中して学習を行い、家庭支援の一助となった。保護者からは継続してほしいという声もあった。 ・参加者募集や申込受付など、会場となった白根児童センターの協力のもと実施できた。 ・区バスを利用して参加する児童もあり、取り組みが広域的となった。 【課題及び今後の取組】 ・白根児童センターで1日増で実施したが、他地域でも実施可能か検討する。 ・ボランティアスタッフを含め児童の見守りという共通認識を持ち参加してもらう。 ・今回の反省点から当日の運営方法などを見直し、より児童たちにとって有意義な会となるようブラッシュアップを進める。
備考	